

基本健康診査のデータ分析を通して保健所 による市町村支援を考える

大西 基喜¹⁾ 宮越 恵子²⁾ 一戸恵久美³⁾
佐藤 宏子⁴⁾ 船渡めぐみ²⁾ 村田 節子²⁾

1) 青森県保健衛生課

2) 上北地方健康福祉こどもセンター保健部

3) 東地方健康福祉こどもセンター保健部

4) 中南部地域県民局地域健康福祉部保健総室

Key words : ①地域診断 ②市町村支援 ③保健所

I. はじめに

生活習慣病予防対策等の住民への身近なサービスは、地域保健法では市町村が役割を担い、保健所は市町村がその役割を十分果たすことができるよう積極的な市町村支援が求められている。

そこで、地域の健康度を測るのに重要な基本健康診査のデータ分析を保健所の技術支援のモデルとして取り上げ、地域診断の研修を行い、支援のあり方、評価を試みた。

II. 目的

各市町村の老人保健事業による基本健康診査のデータの分析と活用について研修を行い、既存のデータから各自の生活習慣病予防対策の基礎資料とできるよう、関係者のデータ分析能力のスキルアップを図り、そのプロセスを通し保健所の市町村支援について考察する。

III. 研究方法

1. 管内8市町村を巡回し、担当課長等に研究事業の主旨を説明し、共通理解を図った。
2. 保健所長が講師となり、管内市町村の老人保健事業担当者、保健所職員を対象に「健診データの分析と活用方法」をテーマに研修を実施した。

3. 市町村は各自市町村のデータ分析を行い、保健所は管内市町村のデータを集計・分析し、その結果を市町村に還元した。
4. 研修受講者に事前・事後のアンケートを実施し、評価を行った。

IV. 結果及び考察

1. 保健所と市町村が共に既存のデータから統計処理を行い、科学的分析の学習を深めるとともに、データ分析結果から得られた健康課題を共有することができた。
2. 受講者は学習したことを各種統計処理・分析に活用する等スキルアップに繋がった。
3. 市町村は自らの健康課題と管内市町村間での位置、また保健所は管内の課題をより明瞭に把握できる道筋を得られた。
4. 市町村は、専門的・技術的な指導力を保健所に期待していることが改めて伺われた。
5. 市町村は各種のデータを抱えながらも有効活用されていないことも多いことから、保健所は市町村がデータを有効利用できるよう技術支援を考える必要がある。
6. これらの活動は、保健所自らも管内課題の認識・施策の基礎データ把握に繋がられる可能性があり、保健所の役割・機能を考える上で重要であると考えられた。

V. 文献

- 1 「Excelで簡単統計」 講談社サイエンティフィク
- 2 厚生労働省「医療制度改革大綱」平成17年12月1日
- 3 生活習慣病健診・保健指導の在り方に関する検討会 第3回津下委員提出資料

VI. 発表

第65回日本公衆衛生学会総会 2006. 10. 25-27